

みたかハンディキャブ交流誌 冬季号 Vol. 132

あおぞら

協力：朗読ボランティア・ういろうの会

photo by kamiyo



秋の日帰り交流会2017 in 横須賀



秋の日帰り交流会 2017

文：加持真人

実踏の時の記録を見ると「こんなに暑い日に実踏に行くのですか」という記述があるくらいでしたが、11月19日(日)はよくもまあこんなに寒い日を設定したもんだというくらい冷たい風の吹く日。ボランティアの皆さん、思いっきりユニクロで着ぶくれして利用者さんのお迎えに行く。当然利用者さんもだるまさんのように着ぶくれ。とにかく転ばないように気を付けて出発する。(だるまさんが転んだ！なんてね)

今回の武州交通さんのバス、下のトランクの大きいこと。利用者さんの車椅子がすべて収納できて、更に色々入りそう、というか布団を敷いて寝られそう。伴走車がいらないうらいたが、一応何かの時のために(起きてほしくはないが)ついていく。常に危機管理をしないとね。筆者は伴走車の運転だったので、車内の状況は全く分からず。それでも聞くところによるとちょっとエアコンの効きが悪く、寒かったとか。思いっきりエアコンを聞かせてめくめくだった伴走車が申し訳ない。でも、バス運転手の宮寺さんの運転はすこぶる上手。伴走車のことを考えて、信号が変わりそうなときにはわざとスピードを落として黄色信号で止まる。伴走車がなければ通過しそうなタイミングでも止まってくれてとても助かりました。我々運転ボランティアも同じような思



いやりを持った運転をしないとイケません。

ほとんど渋滞もなく途中保土谷中継所(駅伝ではない、駅伝は戸塚中継所だ)でトイレ休憩して、無事ソレイユの丘に到着。とても見晴らしの良いところでしたが、とにかく曇りがちで寒い。早々に場外の見学はあきらめ



てレストランへもぐりこむ利用者さん多数。さすがに11時前だと空いていて、車椅子での出入りも極めてスムーズでした。もっとも皆さんが出るころには長い入場の列が



できていましたが。ここの名物、マグロ丼や二色丼(マグロと釜揚げシラス)、そして横須賀海軍カレーと

皆さん思い思いの定食に舌鼓を打っていた様子。朝が早かっただけに、空腹は最大のごちそう！おいしいご飯を食べるだけでも外出は楽しいものです。

やっとおひさまも少し顔を出し始めたので、恐る恐る散歩を始める。動いていれば寒くない程度に天候は回復。でも動くのが嫌な人は「チューチュートレイン」

で場内一周へ。オープンカーなので、ボランティアさんが風よけに窓際に座ると

いう涙ぐましい努力。乗務員さんのガイドもあり、色々楽しい見ものがありました。

これで場内色々体験したつもりになり、またまた早々に売店に。現地の畑や周辺の農家さんの野菜が売られていました。自慢のお花畑もさすがにこの季節は今一步。

来年目指してかわいいコスモスの苗やら、菜の花の苗が申し訳程度に花をつけていました。雲が切れてきて、風も収まってきたらと思ったらもう集合時刻。結局江の島



のかなたに見えるはずの富士山も裾野の部分だけの顔見せでした。春の一泊交流会の時にも雲がかかっていて富士山をバックの雄大な写真が撮れなくて、よっぽど富士山とは縁がない交流会です。せつかくポカポカのお散歩日和になりましたが次の



目的地、よこすかポートマーケットへ。まずは日露戦争の覇者、バルチック艦隊を撃破した戦艦「三笠」を見学。勇躍車椅子を降りて艦内見学に出かけた方もいました。

やはり敵前迂回の戦法を生(せい)の声で聴けば迫力も違うというもの。確か「本日晴朗なれど波高し、各員一層奮励努力せよ」との東郷平八郎元帥の肉声も聞けたのでは。(録音があったはず)残念ながら車椅子での乗艦はかなわず、皆さんでの艦内見学をあきらめた次第。はためくZ旗と遠景に猿島も綺麗に見えて、なかなかの景色

を皆さん堪能したのでは。

よこすかポートマーケットは、巨大な市場。利用者の皆さん本領発揮で、思い思いの方向に行く車いすをあちこちで見かけました。新鮮なお肉、お魚や野菜だけでなくお土産も充実。あっちへ行ったりこっちへ行ったり、車椅子同士のすれ違いもしばしば見られました。実はこの名物ジェラート、今日はちょっと寒くて、ぱくついている利用者さんはあまり見られませんでした。たくさんの買い物をしている利用者さんを見ていると、今後の日帰り交流会は買い物ツアーでも良いのでは、との声も一部にはありました。

さて、三鷹への帰りは多少渋滞もあり帰着は少し遅れましたが、利用者の皆さんは十分にツアーを堪能された様子。交通整理が忙しくて皆さんの顔をしっかりと見ることができませんでした。お土産の多さが満足度を物語っていると信じています。今回参加できなかった利用者さんも次回の交流会にぜひご参加ください。楽しい企画の持ち寄りも大歓迎です。



第39回三鷹市福祉バザーに出店

平成29年11月19日(日)10時から三鷹市中央防災公園・元気創造プラザにて第39回三鷹市福祉バザーが開かれましてキャブも出店しました。今年も皆様のご厚意によって集められたたくさんの品々が並べられましておかげさまで売上は30,741円にもなりました。

今回のバザーを出店するにあたり色々準備されていたスタッフの方々、本当にお疲れ様でした。

そしてなによりバザーの品物を提供して下さった方々、本当にありがとうございました。

この福祉バザーで得た収益金は“みたかハンディキャブ”の活動資金として大切に使われます。

今後もみたかハンディキャブをよろしく願います。

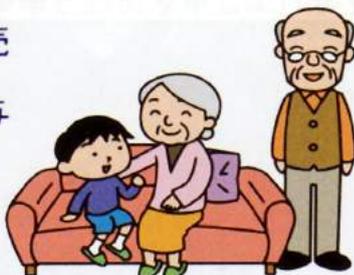
改めまして、心より感謝と御礼を申し上げます。



私たち毎日の生活を支え、人を明るくする
元気にする福祉用具を提案します。

- 福祉用具販売
- 住宅改修
- 福祉用具貸与

定休日
日曜・祝日
年末年始



〈サカイ・ヘルスケア三鷹店〉
三鷹市下連雀9-3-15
Tel 0422-42-6811 Fax 0422-41-2722

みたかハンディキャブ緊急連絡先

事務所時間外17時～翌9時、土、日、祭日で発生した翌日および当日朝のキャンセル等で緊急に連絡が必要な案件は緊急連絡先へ連絡をお願いします。

なお、この電話から前日確認や予約は出来ません。

東垣副理事長・運行管理者 080-1102-7281

万一、上記連絡先で連絡が取れない場合のみ、下記にご連絡下さい

平 副理事長 090-6503-7880

佐藤副理事長 080-5441-1965

宮田 理事長 080-3256-8660

禅林寺龍華会基金から車椅子2台が贈呈

平成29年10月、禅林寺龍華会基金より新しい車椅子2台が贈呈されました。

キャブの車椅子は通常の運行はもちろん、講習会や交流会でも重宝してきましたが経年の劣化による腐食、錆、タイヤの亀裂、ブレーキの減り等で安全上にも色々と問題が出てきておりましたのでこの度は本当に助かりました。早速、先月の日帰り交流会では2台とも大活躍。利用者さんは乗り心地が良いと、とても大満足でした。軽量で丈夫なので長時間押しても疲れにくく、介助側にも優しい車椅子です。

これからも大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。



発行

NPO 法人 みたかハンディキャブ (関東福第11号)

〒181-0012

東京都三鷹市上連雀8-3-10 上連雀分庁舎内

電話 : 0422-41-0185

FAX : 0422-41-0274

E-mail : mcab3@jcom.zaq.ne.jp

HP : <http://mcab.jp>

あおぞら 132号

制作スタッフ

執筆 : 加持、佐藤

写真 : 上條

編集 : 佐藤

真心と笑顔で走る

あおぞら号

編集後記

寒くなってきましたね。あおぞら冬季号をお届けします。私が編集担当になってもうすぐ2年。早いもので来春号をもちまして任期満了です。思い返せば引き継いだ当初は前任者Tさんの文才と編集能力の高さに圧倒され毎日のようにプレッシャーに悩みました。Tさんは元出版関係者で執筆から写真、校正までなんでも1人で出来るしまう私の尊敬する人。そんな人の後任が私に務まるのかと本当に不安でした。

しかしキャブには色々な人がいます。筆が立つ人。写真の上手な人。発送作業を笑顔で手伝ってくれる人も。そんな心優しい仲間達の助けがあって私はなんとかやってこれました。みんな本当にありがとう^^

”みたかハンディキャブ”の活動の多くは無償、そんな心の助け合いで成り立っている部分が大いなのです。これからも皆で協力しながら、優しく楽しい活動をしてゆきますので、皆様どうぞよろしくお願ひ致します。これからどんどん寒くなりますが、お身体にはくれぐれも気をつけて元気に楽しく年越ししましょうね。そして来年もまた笑顔でお会いしましょう。それでは皆様、良いお年を…